

第14回 中小機構中国本部 ハンズオン支援事業大会

令和
2年度

- 現場の景色が変わり、人が変わり、企業が変わる -

会社の“ありたい姿の実現”に向けて一緒に汗をかく中小機構のハンズオン支援事業(専門家派遣)。
本事業を活用された企業の方々の生の声を通じて、
実際に「現場の景色が変わり、人が変わり、企業が変わる」ことをお伝えいたします。
ぜひご参加ください!

【今年度は、感染防止対策を講じた来場参加のほか、Zoom参加も受け付けます。】

開催日時 : 2021年1月29日(金) 14:00 - 17:25 (無料)
※交流会は実施いたしません。

会場 : 広島県民文化センター 多目的ホール
(広島県広島市中区大手町1-5-3) <https://www.rcchall.jp/bunkac/floor/hall.html>

参加人数 : 来場参加 100名まで ※本来の会場定員: 530名
: Zoom参加 300名まで 感染予防のため、座席数を制限しています。
※Zoom配信は、会場の様子を生配信します。

申込〆切 : 2021年1月22日(金) 17:00まで
※定員になり次第、締め切らせていただきますので、お早目にお申込みください。

読取:



HPに申込フォームが
掲載されています。

申込はHPから

URL : https://www.smri.go.jp/regional_hq/chugoku/event/2020/fr94k00005trmu.html

検索 : 第14回 中小機構中国 ハンズオン支援事業大会



事例発表

『チーム・個人の成長による生産性向上』

- 中小機構とのコラボ・場の提供による主体性の喚起 -

アクト中食株式会社

代表取締役社長 平岩 由紀雄 氏

『IoT対応無人化工場の実現に向けて』

- 機械で稼ぐ! 現場力の強化 -

株式会社ひびき精機

代表取締役 松山 英治 氏

『つながれ! オープンイノベーション』

- 新市場進出と計画的事業承継に向けた基盤づくりと中小機構の活用 -

株式会社中原製作所

代表取締役社長

中原 健一 氏

専務取締役開発技術部長

中原 健太郎 氏

* 事例発表企業のご紹介 *



アクト中食株式会社 [広島県広島市]

【経済産業省選定 地域未来牽引企業】

業務用食品卸業として、広島県内トップ企業であるアクト中食株式会社。

長年、顧客の要望に丁寧に応えてきたことにより、順調に売上は拡大してきた反面、倉庫業務・トラック配送業務の負荷は益々増大していた。労働時間短縮など社会的要求とも言える労働環境改善実現の為、社長が、生産性向上による収益と給与の向上および労働環境改善の両立を呼びかけた。経営トップから現場社員までが一丸となって生産性向上・サービス向上に取り組んだ事例をご紹介します。

当社は、明治44年創業で2021年に創業110年を迎える老舗食品卸業。生鮮食品を含む食材/酒類等（取扱商品20,000アイテム）を毎日顧客（7,000事業所）に供給する当社の生命線は物流のスピードと効率（採算性）。物流業界が直面する人手不足、労働時間短縮等の問題に対処しながら、「全社員参加でラストワンマイルを制する物流現場改善を実現し、社員が誇りを持てる良い会社を築く」を目標に、中小機構では2017年7月～2019年7月にかけて、物流現場の改善、中期経営計画の策定支援を実施。現在システム構築支援中。
【設立：1911年／資本金：7,000万円】 <https://www.act-cs.co.jp/>

株式会社ひびき精機 [山口県下関市]



【経済産業省選定 地域未来牽引企業】

“削り屋”としての誇りを胸に、高い技術力で顧客のあらゆる要望に応える株式会社ひびき精機。

「技術・技能伝承企業」を標榜し、ノウハウをブラックボックス化させない仕組みづくりを進めつつ、2020年に新設した第3工場はIoTを駆使した「機械に稼がせる工場」にすることを目指している。人と技術の関係大切にしながら、未来に向けた挑戦を続ける当社の取り組み事例をご紹介します。

当社は、旋盤加工とフライス加工による複合精密切削加工を専業とし、ステンレス、チタン、インコネルといった難削材の加工にも幅広く対応する。半導体製造装置関連部品の他、航空宇宙関連部品の製造も手掛け、JAXAとの取引実績も有す。中小機構では2017年12月～2020年1月にかけて、「IoT対応無人化工場を実現させる現場力の強化」をテーマに、動画作業分析による段取り替え時間短縮、加工シミュレーションによるエアカット時間の短縮、加工中の計画停止削減、切粉処理の自動化、設備保全体制の拡充、活動板による取り組みの見える化等、当社のTPM活動を支援。

【設立：1975年／資本金：7,500万円】 <http://www.hibikiseiki.com/index.html>

株式会社中原製作所 [岡山県岡山市]



【経済産業省選定 地域未来牽引企業】

常に現状と未来を見据え、生き残りをかけて絶え間ないチャレンジを続ける株式会社中原製作所。

現代表者の退任を2021年12月に控えて着実に事業承継を進めつつ、更なる新事業展開を図り、「魅力ある工場」も作ろうと奮闘する当社が描くビジョンとは？そして、その実現のために中小機構をどう活用したのか？現在進行形で続いている、リアルな取り組み事例をご紹介します。

当社は、岡山市に本社を置く金属加工業。創業以来からの印刷機械部品向けローラーにきめ細かく対応してきた経験を活かし、現在では産業用ロボット部品・フィルム製造装置部品・航空機用部品などの新分野にも挑戦し、進出している。技術力の維持・強化にとどまらず、過去には全く想定されていなかった異なる技術の結び付けや融合を見つけ、常識にとらわれないものづくりイノベーションを追求している。中小機構では2017年7月～2019年9月にかけて、マシニングライン・旋盤ラインの生産性向上及び日常管理の徹底による工場改善をテーマに支援。

【設立：1948年／資本金：1,000万円】 <https://www.nkhr.info/>